

令和9年度

熊本赤十字病院

外科専門研修プログラム



熊本赤十字病院

JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

目次

1. 熊本赤十字病院 外科専門医研修プログラムについて
2. 研修プログラムの施設群
 - 専門研修基幹施設
 - 専門研修連携施設
3. 専攻医の受け入れ数について
4. 外科専門研修について
 - 1) 熊本赤十字病院の外科専門医研修プログラム
 - 2) 年次毎の専門研修計画とモデルプラン
 - 基本コース
 - 消化器外科コース
 - 心臓血管外科コース
 - 呼吸器外科コース
 - 小児外科コース
 - 移植外科医コース
 - 3) 研修の週間計画および年間計画
 - 熊本赤十字病院週間計画
 - 研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール
5. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）
6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得（専攻医研修マニュアル - 到達目標 3- 参照）
7. 学問的姿勢について
8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて（専攻医研修マニュアル - 到達目標 3- 参照）
9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方
10. 研修施設群の概要について
11. 専門研修の評価について（専攻医研修マニュアル -VI- 参照）
12. 専門研修プログラム管理委員会について（外科専門研修プログラム整備 基準 6.4 参照）
13. 専攻医の就業環境について
14. 修了判定について
15. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件
16. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について
 - 研修実績および評価の記録
17. 専攻医の採用と修了
 - 採用方法
 - 研修開始届け
 - 修了要件
18. 処遇・福利厚生について

はじめに

熊本赤十字病院の医師教育理念

- ①救急医療と総合診療を中心に幅広い疾患に対応できる医師の養成
- ②患者や家族の社会的背景に配慮し、診療各科及び他職種と協力できる医師の養成
- ③地域に貢献し、信頼される医師の養成
- ④地球的視野で災禍を見つめ、積極的に医療救援活動に参加できる医師の養成

熊本赤十字外科専門医研修プログラムは、熊本赤十字病院の理念を基本として、総合的な外科医が身につけるべき能力を3年間で育成していくものです。

1. 熊本赤十字病院 外科専門医研修プログラムについて

1) 熊本赤十字病院の理念

熊本は日本赤十字社発祥の地です。西南の役で、敵味方の区別なく傷病者を救護した博愛社にその端を発します。その伝統ある熊本の地で、熊本赤十字病院は理念である『「人道・博愛・奉仕」の実践』の精神に則り、医療を実践してきました。

西南の役での「敵味方の区別なく」の精神は、「こどもから高齢者まで、急病、外傷、中毒など原因や罹患臓器の別に関わらず、全ての緊急性に常時対応する」という、熊本赤十字病院の救急医療のスタンス「Anyone、Anything、Anytime」に継承されています。

科の垣根を超え、全ての患者に全力を尽くす。専門的診療能力と、医療人として患者に寄り添う全人的医療を兼ね備えた外科医の姿が当院の目指す形です。

熊本赤十字病院 外科専門医研修プログラムの目的と使命は以下の7点です。

- 1) 医師として最低限必要とされるプライマリケアの知識、診療能力を習得すること
- 2) 外科医として身に付けるべき、専門的な知識、診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備え、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること
- 6) 専門領域の異なる他領域の専門医と良好な連携を取ることができ、コメディカル、看護師など他職種とチームで患者に最善の医療を提供できること
- 7) 地域の医療機関と連携を取り、地域住民の健康に対し貢献することができること

2. 研修プログラムの施設群

熊本赤十字病院と連携施設（10施設）により専門研修施設群を構成します。

本専門研修施設群では 30名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

基幹施設及び連携施設の概要は以下の通りです。

専門研修基幹施設

名称	都道府県	研修可能な領域 1：消化器外科、2：心臓血管外科、3：呼吸器外科、4：小児外科、5：乳腺内分泌外科、6：その他（救急含む）	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
熊本赤十字病院	熊本県	1.2.3.4.5.6.	1. 横溝 博 2. 田中 栄治

専門研修連携施設

No.	名称	都道府県	研修領域	連携施設担当者名
1	熊本大学病院	熊本県	1.2.3.4.5	高木 淳
2	熊本セントラル病院	熊本県	1	山口 賢治
3	武蔵ヶ丘病院	熊本県	1.6	水流添 周
4	愛知医科大学病院	愛知県	1.2.3.4.5.6	児玉 章朗
5	手稲溪仁会病院	北海道	1.2.3.4.5.6	加藤 健太郎
6	聖マリア病院	福岡県	1.2.3.4.5.6	吉田 索
7	東京ベイ浦安市川医療センター	千葉県	1.2.3.4.5.6	溝上 賢
8	佐賀大学病院	佐賀県	1.2.3.5.6	江川 紀幸
9	島根大学医学部附属病院	島根県	1.2.3.4.5.6	日高 匡章
10	愛知県がんセンター	愛知県	1.3.5	吉村 章代
11	大腸肛門病センター高野病院	熊本県	1	伊禮 靖苗

本プログラムでは、上記の10施設を連携施設としています。

3. 専攻医の受け入れ数について

本専門研修施設群の1年間NCD登録数は約1,892例で、専門研修指導医は22名です。

本年度の募集専攻医数は3名です。

4. 外科専門研修について

1) 熊本赤十字病院の外科専門医研修プログラム

①熊本赤十字病院

熊本赤十字病院は、新専門医制度の基幹施設、日本消化器外科学会専門医制度修練施設、心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設、呼吸器外科専門医研修期間施設、日本小児外科学会教育関連施設、日本外傷学会外傷専門医研修施設です。

i) 外科（一般外科・呼吸器外科・乳腺外科）

外科だけで、年間約 1200 症例、血管外科や小児外科、乳腺外科を含めると 2200 症例の手術を行っています。外科に関していえば悪性疾患の手術が 1/3、Acute Care Surgery が 1/3、胆石・ヘルニアなどの良性疾患が 1/3 と症例数も疾患のスペクトラムも研修に十分と考えています。

また、腎移植を行っており、移植に関する知識や技術を学ぶとともに、さらに移植専門医としてキャリアを積んでいくことも可能です。



ii) 心臓血管外科

年間約 400 症例の手術を行っています。うち、心臓・胸部大動脈が約 150 例、腹部大動脈・末梢血管等が 250 例と多彩な症例にあたるのが可能です。平成 22 年からは毎年 1 名程度の後期研修医を育成しており、若手を含めたチームで診療に当たり、実践的に標準手術の経験を積むことができます。

また、植え込み型補助人工心臓の植え込み手術など新しい治療に対しても積極的に取り組んでおります。

iii) 小児外科

日本では救急病院に小児外科が開設されていることは少なく、小児外科医としては非常に特殊なトレーニングを積むことが可能です。外傷や腹痛患者などに対する初期評価、初期介入、画像診断を含めた診断、手術を含めた治療までを一貫して行えることを目標とします。対象疾患は、当院の小児科診療の高度化に伴い、年々、様々な分野の高度な疾患を扱うように変化しています。また、小児ではCTの使用が制限されるため、画像診断技術の一環としてエコーの技術習得を必須としています。

日常診療では、ほとんどの手術を腹腔鏡で行っています。術野が狭いため同じ術式でも成人よりも難易度が高くなります。ある程度以上の一般外科のトレーニング後であれば1か月程度で、低難易度（そけいヘルニア、虫垂炎など）の術者や高難易度手術（噴門形成、脾臓摘出など）の部分的な術者を経験することが可能です。年間の手術は 260 例程度です。

iv) 外傷外科 (Acute Care Surgery 部門)

平成 27 年 4 月から救命救急センター内に外傷外科を設置し、重症外傷患者の救命率向上を図るために、初療から手術・集中治療までを一貫して治療できるようになりました。

外傷診療ではチーム医療が特に重要であり、多発外傷では外傷関連各科の協力も不可欠です。外傷外科がチームマネジメントを行い、迅速かつ適切な治療戦略のもとで最適な医療を提供しています。平成 29 年 11 月から外傷専門医研修施設の認定を受け、蘇生のために行う初療室手術も年間約 30 例にもものぼっており、重症外傷センター化を目指しています。希望すれば、外傷外科のチームに所属して Acute Care Surgery 部門の修練を積むことも可能です。



v) 国際医療救援 (災害医療)

当院は全国に 5 ヶ所ある国際救援拠点病院として、延 250 名の要員を派遣しております。

外科領域においては、戦傷外科、災害医療などの分野において、活躍しております。救援要員として求められるのは、自己完結できる能力であり、麻酔科や整形外科、産婦人科など他領域の経験も必要とされます。また、派遣に必要とされる英語研修などの補助事業も行っております。

国内の救援にも赤十字病院として要員を派遣しており、年間 6 回の救護訓練を実施しています。熊本地震の際は、発災から 5 日間で 1,397 名の患者さんを受入れました。



当院では、外科 (消化器および呼吸器)、心臓血管外科、小児外科、乳腺内分泌外科があり、3 年間の研修ではこれらをローテーションしていくこととなりますが、乳腺内分泌外科に関しては外科研修時に同時に研修を行うこととなります。

これまでの事例を参考にしたモデルコースを下記に示します。当院では外科専門医要件を満たす十分な症例を短期間で経験でき、また診療科の垣根が低いため、3年間のうちに救急科、麻酔科、消化器科、内科、泌尿器科など研修も可能となっており、専攻医の意見を取り入れながら、自由度の高い研修計画を作ることができると考えています。

それぞれ、外科専門医取得を前提とし、さらにサブスペシャリティを見据えて、キャリアを積んでいける内容です。3年間の研修を基本としていますが、研修の進行状況や希望により1年延長することもあります。各領域の専門医、肝胆膵外科高度技能専門医、内視鏡外科技術認定医、心臓血管外科修練指導者から指導を受けながら、自らのキャリアパスを描くのによい環境です。



②連携施設

普段より、密に医療連携をとっている医療機関が連携施設となっており、連携施設での研修により、地域医療を経験し、その理解を深めることができます。

- 熊本大学病院
- 熊本セントラル病院
- 武蔵ヶ丘病院
- 愛知医科大学病院
- 手稲溪仁会病院
- 聖マリア病院
- 東京ベイ・浦安市川医療センター
- 佐賀大学医学部附属病院
- 島根大学医学部附属病院
- 愛知県がんセンター
- 大腸肛門病センター高野病院

③学習環境について

学会発表や論文作成にも力を入れており、文献検索に十分な環境や論文投稿時の奨励金制度もあります。院内研修が盛んにおこなわれており、医療安全、感染対策、医療倫理などの知識やスキルを得る機会も多くあります。

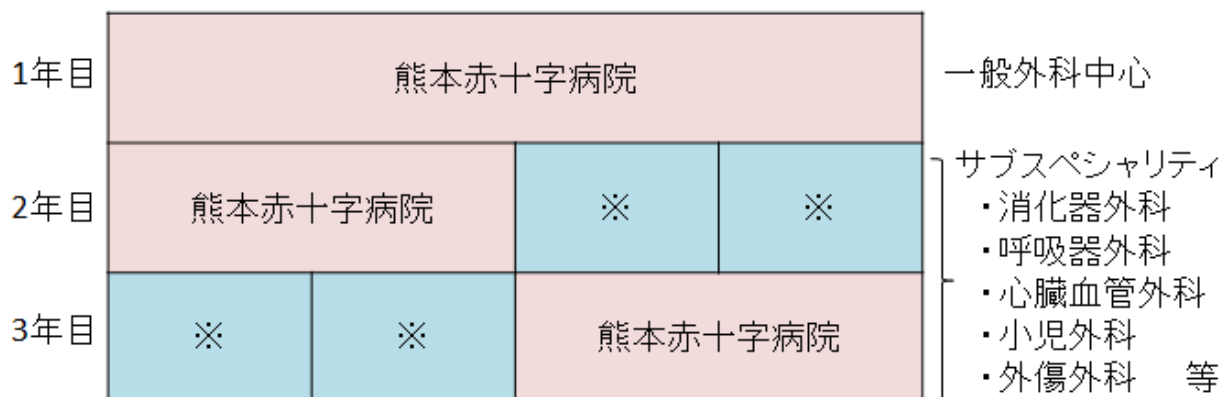
また、院内にシミュレーションルームがあり、アニマルトレーニングに参加するなど、Off-the-Job

training を行う環境も整っています。

2) 年次毎の専門研修計画とモデルプラン

基本的に、1年目は外科を中心に診療を行い、2年目からサブスペシャリティを意識しながら、各自の希望に応じたローテーションのプランを立てていきます。

ローテーション (例)



※3ヶ月を1コマとし、6～12ヶ月間、連携施設での修練を行う。
 連携施設やサブスペシャリティの時期や期間は研修到達状況と本人の希望を元に研修委員会で決定する。

※ローテーションは例であり、専攻医の希望と到達度を鑑みて、研修医委員会によって決定します。
 ※連携病院研修の研修先の選択、期間、時期については、本人の希望及び到達度によって委員会によって決定します。

3) 研修の週間計画および年間計画

①熊本赤十字病院

<外科、呼吸器外科、乳腺外科>

	月	火	水	木	金
7:00-7:30			CT 読影講義	術前カンファ	週替わり*
7:30-8:00			外科カンファ		業者説明会
8:00-8:30			#		
8:30-8:45	医局会				
9:30-17:00	手術 病棟業務	手術 病棟業務	部長回診 手術 (乳腺)	手術 病棟業務	手術 病棟業務
17:00-18:00				Cancer Board (不定期)	

M&M カンファ、診療科内での治療方針に関するカンファレンスなど

* (抄読会、ビデオカンファ、外傷カンファ、術後カンファ等)

オンコール：7回/月程度、当直：1回/月程度

<心臓血管外科>

	月	火	水	木	金
朝	心エコーカンファ		抄読会	手術検討会	手術症例合同カンファ
午前	手術	手術	手術	手術	手術
午後	術後と病棟管理	術後と病棟管理	術後と病棟管理	術後と病棟管理	術後と病棟管理
その他	循環器内科合同カンファ(夕方)	循環器内科合同カンファ(夕方)	循環器内科合同カンファ(夕方)	循環器内科合同カンファ(夕方)	循環器内科合同カンファ(夕方)

- ・毎日7:00 部長回診
- ・毎週火曜18:00 勉強会(不定期)

<小児外科>

	月	火	水	木	金	土、日
午前	外来	外来	手術日	外来	手術日	オンコール
午後	エコー	エコー		エコー		
他の予定	術前カンファ				病棟カンファ	

<ACS部門>

	月	火	水	木	金
7:00-7:30					トラウマカンファ(第4週)
7:30-8:00			外科カンファ		
8:00-8:30			ア		
8:30-8:45	医局会				
8:45-9:00	集中カンファ				
9:00-11:00	回診 病棟業務	回診 病棟業務	外科総回診 病棟業務	救急カンファ	回診/病棟
11:00-12:00				病棟業務	外傷外科カンファ&抄読会
13:00-16:00					病棟業務
16:00-17:05	夕回診				

- ※1 基本は集中治療室での病棟業務(各担当日は担当業務を優先)
- ※2 プレホス担当は外傷事案に対して要請時にプレホスから医療介入する
- ※3 救急外科担当は外科ファーストとして初療から関わり緊急手術～術後管理/退院まで

※4 重症外傷症例では外傷外科を中心に外科／救急科と協同して外傷蘇生を行う

②熊本大学病院

<小児・移植外科>

	月	火	水	木	金	土	日
8:00- スタッフ会議	○						
8:15- 総回診	○			○			
9:00- 手術または病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00-13:00 午前外来	○		○	○	○		
13:00-16:00 午後外来					○		
14:00- 病棟ブリーフィング	○	○	○	○	○		
15:00- 術前術後カンファレンス				○			
16:00- グループミーティング	○	○	○	○	○		
16:30- 他科合同カンファレンス	○						
17:00- 移植術前カンファレンス(移植の前週)					○		
8:15- 抄読会					○		

<心臓血管外科>

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 回診・朝カンファ	○	○	○	○	○		
8:30- 手術	○	○	○		○		
8:30-17:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 外来		○		○			
7:30-8:00 循環器症例カンファレンス				○			
17:00- 説明会、医局会、(wet labo)		○					
16:30- 麻酔科カンファレンス					○		

<呼吸器外科>

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 抄読会、勉強会			○				
7:00-7:30 朝カンファレンス		○					
8:00-10:00 病棟業務		○		○			
10:00-12:00 午前外来		○		○	○		
9:00- 手術	○		○		○		
7:30-7:30 総回診	○						
17:00-17:30呼吸器科合同カンファレンス		○					

<消化器外科>

	月	火	水	木	金	土	日
7:45- スタッフ会議	○						
8:00-8:30 当直報告、術前術後報告	○	○	○	○	○		
8:30- 総回診			○				
9:00- 外来	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
17:00- 他科合同カンファレンス	○						
17:00- 輪読会、抄読会				○			
18:00- 医局会、合併症カンファレンス、学会予行				○			
19:00- グループカンファレンス				○			

<乳腺内分泌外科>

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30/17:00-18:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30-17:00 外来業務	○	○	○	○			
9:00-13:00 外来検査業務	○	○	○	○			
14:00-17:00 外来侵襲的検査業務		○	○	○			
8:30- 手術				○	○		
14:30- 臨床カンファレンス	○						
16:00- 抄読会	○						
16:30-17:00 回診	○						

③熊本セントラル病院

	月	火	水	木	金	土	日
9:00- カンファレンス	○						
9:00-12:00 外来	○	○	○	○	○	○	
14:00-17:00 外来	○		○		○		
午後 手術		○		○			

④武蔵ヶ丘病院

診療時間	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	9:00~12:30	13:30~17:30	9:00~12:30	13:30~17:30	9:00~12:30	13:30~17:30	9:00~12:30	13:30~17:30	9:00~12:30	13:30~17:30
研修内容	内視鏡	救急	手術	手術 / 救急	手術	手術 / 救急	在宅	総回診	救急 / 内視鏡	カンファ

⑤愛知医科大学病院

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:15 消化器内科・外科合同カンファレンス(消化管)	○	○					
7:45-8:15 消化器内科・外科合同カンファレンス(肝胆膵)	○						
7:45-8:00 抄読会、勉強会			○				
7:45-8:15 前週手術症例反省会				○			
8:00-8:15 朝ミニカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:15-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
9:00-10:30 総回診	○						
16:00-17:30 病棟業務	○	○	○	○	○		
17:30-19:30 次週手術症例検討会 消化器など		○					
19:30-20:00 外科問題症例検討会		○					
抗癌剤検討会	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 休日病棟回診(当番日)						○	○

⑥手稲溪仁会病院

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 抄読会、検討会			○				
7:30-8:30 勉強会						○	
8:00-8:30 朝カンファレンス	○						
8:30-9:00 ICUカンファレンス	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 外来		○		○			
9:00- 手術	○	○	○	○	○	○	
17:00-18:00 タカンファレンス	○		○	○	○		
17:30- 内科外科合同カンファレンス		○					
18:30- 病理合同カンファレンス				○			
13:00-16:00(院外) シミュレータートレーニング				○			
7:30-8:30 外傷カンファレンス(第4週)			○				

⑦聖マリア病院

	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30M&Mカンファレンス		○					
7:50～8:30消化器内科・放射線科 合同カンファレンス					○		
8:00～9:00外科カンファレンス(術前・術後、指示チェック)	○	○	○	○	○		
9:00～10:00病棟業務 回診	○	○	○	○	○		
9:00～12:00午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00～手術	○	○	○	○	○		
13:00～午後枠手術	○	○	○	○	○		
16:00～16:30病棟業務 回診		○	○	○	○		
16:00～18:00腎移植カンファレンス	○						
○外科(消化器・乳腺・呼吸器・移植)	○	○	○	○	○	○	○

⑧東京ベイ・浦安市川医療センター

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 朝カンファレンス、腫瘍カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
8:45-9:00 ICU回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
13:00-14:00 病棟回診		○			○		
15:00-16:00 病棟カンファレンス						○	
16:00- 16:30 消化器カンファレンス	○						

⑨佐賀大学病院

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 全体回診	○	○	○	○	○		
7:30-8:00 抄読会、術後カンファレンス		○		○			
8:00- 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○		○		○		
12:00- 手術		○		○			
9:00- 外来		○	○	○			
13:00- 外来				○			
16:30-17:30 放射線診断合同カンファレンス		○					
17:30-18:00 病理合同カンファレンス		○					
18:00-18:30 グループ回診	○	○	○	○	○		

⑩島根大学医学部附属病院

	月	火	水	木	金	土	日
8:15-9:15 朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:30- 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:30- 外来	○	○	○	○	○		
9:30- 手術	○	○	○	○	○		
9:00-10:0 教授回診		○					
消化器・総合外科例							

⑪愛知県がんセンター

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00術前症例検討会		○	○				
8:00-9:00HBOC診療カンファレンス(第1週)	○						
8:00-9:00乳腺多職種カンファレンス(第2週)	○						
8:00-9:00放射線治療カンファレンス(隔月第3週)	○						
8:00-9:00遺伝性疾患カンファレンス(第4週)	○						
8:00-9:00抄読会・リサーチカンファレンス					○		
9:00-11:30初診	○	○	○	○	○		
9:00-11:30再診	○	○	○	○	○		
9:00-手術(A.M.)	○	○	○	○	○		
13:00-手術(P.M.)	○	○	○	○	○		
13:00-15:00セカンドオピニオン	○		○		○		
13:30-15:00ステレオマンモトーム/乳管造影	○			○			
15:00-16:30US下マンモトーム	○	○		○			
16:00-17:00再発症例カンファレンス	○						
17:00-18:00セカンドオピニオン勉強会(不定期)	○						

⑫大腸肛門病センター高野病院

	月	火	水	木	金	土	日
8:20-8:35勉強会 or 8:15-8:35予演会	○						
8:35-8:50術後症例検討会 隔週	○						
8:20-8:50ドクターズミーティング		○					
8:10-8:50胃腸疾患症例検討会			○				
8:20-8:50内科NSTカンファレンス				○			
13:30-14:00機能科カンファレンス				○			
8:00-8:20外科NSTカンファレンス					○		
8:20-8:50肛門疾患症例検討会					○		
8:50-9:00モーニングブリーディング	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00午前外来(消化器外科)	○	○	○	○	○	○	○
14:00-17:00午後外来(消化器外科)	○	○	○	○	○		
9:30-12:30病棟回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-手術(件数により時間変動あり)	○	○	○	○	○		
9:30-検査	○	○	○	○	○	○	

研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"> ・外科専門研修開始 専攻医及び指導医に提出用資料の配布 ・日本外科学会参加(発表) ・縫合・結紮トレーニング
5	<ul style="list-style-type: none"> ・研修修了者: 専門医認定審査申請・提出
8	<ul style="list-style-type: none"> ・研修修了者: 専門医認定審査(筆記試験)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床外科学会参加(発表)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻医: 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成(年次報告) ・専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成

	<ul style="list-style-type: none"> ・指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成
3	<ul style="list-style-type: none"> ・アニマルトレーニング ・その年度の研修終了 ・専攻医：その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・指導医・指導責任者：前年度の指導実施報告用紙の提出 ・研修プログラム管理委員会開催

5. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）

専攻医研修マニュアルの到達目標 1（専門知識）、到達目標 2（専門技能）、到達目標 3（学問的姿勢）、到達目標 4（倫理性、社会性など）を参照してください。

6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得（専攻医研修マニュアル・到達目標 3- 参照）

- 1) 基幹施設及び連携施設それぞれにおいて医師及び看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聞くことにより、具体的な治療と管理を学びます。
- 2) 放射線診断・病理合同カンファレンス：手術症例を中心に放射線科とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比します。
- 3) Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどにより合同カンファレンスを行います。
- 4) 基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を定期的に基幹施設、あるいは連携施設の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- 5) 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- 6) シミュレーションルームの利用やアニマルトレーニング参加、手術ビデオカンファレンスなどを通して積極的に手術手技を学びます。
- 7) 日本外科学会の学術集会（特に教育プログラム）、e-learning、その他の各種研修セミナーや基幹施設及び連携施設内で実施されるこれらの講習会などで下記の事柄を学びます。
 - 標準的医療及び今後期待される先進的医療
 - 医療倫理、医療安全、院内感染対策

7. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決しえない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画することで解決しようとする姿勢を身につけます。

学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらに得られた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。(専攻医研修マニュアルー到達目標3参照)

- 日本外科学会定期学術集會に1回以上参加
- 日本消化器外科学会、日本心臓血管外科学会、日本呼吸器外科学会、日本小児外科学会、日本乳癌学会等の関連学会にも1回以上参加
- 指定の学術集會や学術出版物に、筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて

(専攻医研修マニュアル・到達目標3参照)

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれます。内容を具体的に示します。

- 1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること (プロフェッショナリズム)
 - 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技術及び態度を身につけます。
- 2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること
 - 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえて患者ごとに的確な医療を目指します。
 - 医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。
- 3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること
 - 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。
- 4) チーム医療の一員として行動すること
 - チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。
 - 的確なコンサルテーションを実践します。
 - 他のメディカルスタッフと協調して診療に当たります。
- 5) 後輩医師に教育・指導を行うこと
 - 自らの指導技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。
- 6) 保険医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること
 - 健康保険制度を理解し、保健医療をメディカルスタッフと協調し、実践します。
 - 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
 - 診断書、証明書が記載できます。

9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1) 施設群による研修

本研修プログラムでは熊本赤十字病院を基幹施設とし、地域の連携施設とともに病院施設群を構成

しています。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で隔たりのない充実した研修を行うことが可能となります。これは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。

施設群における研修の順序、期間などについては、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、地域の医療体制を勘案して、熊本赤十字外科専門研修プログラム管理委員会が決定します。

2) 地域医療の経験（専攻医研修マニュアルー経験目標3参照）

現在は地域完結型医療が求められており、地域医療における病診連携、病病連携、地域包括ケア、在宅医療などは知っておくべきものであります。本プログラムでは地域連携施設で一定期間研修することにより、地域医療の実情を学び実践することができます。

- 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携について理解する。
- 高度急性期や急性期のみではなく、回復期や慢性期における診療の理解を深めます。
- 施設ごとの特性に応じて、初期診療、診断、手術、化学療法、併存疾患の治療、長期フォローアップ等を実践します。
- 高齢者、がん患者など終末期およびそれに準じた患者の診療や介護において、介護施設との連携、在宅診療、緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案、実践します。

10. 研修施設群の概要について

1) 各研修施設の概要

	施設区分	病院名	病床数	年間手術 件数	外科専門 医数
1	基幹施設	熊本赤十字病院	490	1,892	19
2	連携施設	熊本大学病院	822	2,209	30
3	連携施設	熊本セントラル病院	246	265	4
4	連携施設	武蔵ヶ丘病院	145	250	3
5	連携施設	愛知医科大学病院	893	3091	42
6	連携施設	手稲溪仁会病院	660	1,890	19
7	連携施設	聖マリア病院	1091	2,213	14
8	連携施設	東京ベイ浦安市川医療センター	340	1,285	4
9	連携施設	佐賀大学病院	602	1,225	20
10	連携施設	島根大学医学部附属病院	586	1,667	26
11	連携施設	愛知県がんセンター	500	1,747	22
12	連携施設	大腸肛門病センター高野病院	166	1913	7

11. 専門研修の評価について（専攻医研修マニュアル -VI- 参照）

専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へさらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。

※専攻医研修マニュアル IV 参照

12. 専門研修プログラム管理委員会について（外科専門研修プログラム整備 基準 6.4 参照）

基幹施設である熊本赤十字病院には、専門研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。

各連携施設には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修委員会組織がおかれます。

熊本赤十字病院外科専門研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の5つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺内分泌外科、呼吸器外科）及び外傷外科の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には、専門医取得直後の若手医師代表が加わります。

専門研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良を行います。

1 3. 専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は、専攻医の労働基準改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は、専攻医のメンタルヘルスに配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は労働基準法に準じて専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

1 4. 修了判定について

3年間の研修期間における年次毎の評価表及び3年間の実地経験目録に基づいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に専門研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が専門研修プログラム管理委員会において評価し、専門研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

1 5. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

専攻医研修マニュアル VIII を参照してください。

1 6. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について

1) 研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式(専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録)を用いて、専攻医は研修実績(NCD登録)を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年1回行います。

熊本赤十字病院にて、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

2) マニュアル等

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

- 専攻医研修マニュアル: 「専攻医研修マニュアル」を参照してください。
- 指導医マニュアル: 別紙「指導医マニュアル」を参照してください。
- 専攻医研修実績記録フォーマット: 「専攻医研修実施記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに記録します。
- 指導医による指導とフィードバックの記録: 「専攻医研修実施記録」に指導医による形成的評価を記録します。

17. 専攻医の採用と修了

1) 採用方法

熊本赤十字病院では令和9年度、3名の外科専攻医を募集します。

熊本赤十字外科専門医プログラム管理委員会は、随時説明会などを行い、外科専攻医を募集します。

<応募条件>

- ・令和9年3月31日までに初期臨床研修を修了しているものもしくは修了見込のもの
- ・外科診療に熱意を持って取り組めるもの

<必要書類>

- ・履歴書（当院様式）※当院ホームページよりダウンロード可
- ・医師免許証（コピー）、臨床研修修了登録証（コピー）または臨床研修修了見込証明書

<応募締切>

令和8年8月上旬（予定） ※変更になることもあります。事前にお問い合わせください。

<選考方法>

書類審査、及び面接試験のうえ、採否を決定し本人に文書で通知します。

応募者及び選考結果についてはプログラム管理委員会にて報告します。

専攻医が定員に満たない場合、追加募集を行うことがあります。

<研修開始届>

研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を、日本外科学会事務局および、外科研修委員会に提出します。

- 必要書類・専攻医の氏名、移籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・専攻医の履歴書（様式 15-3 号）、専攻医の初期研修修了証

<修了要件>

専攻医研修マニュアル参照

<資料請求・問い合わせ先>

〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南 2-1-1 熊本赤十字病院 教育研修推進課

TEL : 096-384-2190 FAX : 096-384-2395 E-Mail : rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp

17. 処遇・福利厚生について

処遇等

身分	常勤嘱託職員
給与	基本給 専攻医 1 年目（卒後 3 年目） 390,000 円 専攻医 2 年目（卒後 4 年目） 450,000 円 専攻医 3 年目（卒後 5 年目） 500,000 円
手当	住居手当、通勤手当、時間外・深夜手当、宿日直手当、待機料別途支給
賞与	年 2 回
モデル給与	基本給、賞与、各種手当（住居手当・時間外手当、宿日直手当等）を含む年度支給平均額。参考であり、実際の支給額は時間外数や当直回数により変動します。 専攻医 1 年目 総支給額 800 万円 専攻医 2 年目 総支給額 880 万円 専攻医 3 年目 総支給額 1,070 万円
宿舍	職員宿舍あり（単身用・1LDK・駐車場付・病院から徒歩 5 分以内）但し、入居希望者多数の場合は抽選となることがあります。
勤務時間	週 38 時間 45 分 平日 8：30～17：05（休憩 50 分）
休暇	年次有給休暇 24 日 夏季休暇、慶弔休暇等の特別有給休暇制度あり
社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
健康管理	職員定期健康診断（年 2 回）、各種予防接種 メンタルヘルスカウンセリング制度
その他	職員食堂、院内職員用シャワー室、仮眠室、ランドリー完備、医局内後期研修医室、白衣・スクラブ、互助会、院友会、院内職員用トレーニングルーム、音楽室、リラクゼーションルーム、テニスコート、グラウンド、各種クラブサークル活動、病児保育、院内保育

熊本赤十字病院の 福利厚生



おいしい食事は働く源です。当院自慢の食堂ランチを是非食べて欲しい！



阿蘇、天草、ヘルシー
3種類から選べる



昼食は500円
朝昼晩あり！



病院内に何でも揃う
ショッピングモールあり！



疲れた体を癒すには、住環境の充実がマスト！職員宿舎を準備しています。



7棟130部屋、徒歩5分圏内
オートロック、エアコン完備



1LDK 駐車場付き！
22,000～25,000円



院内にリラクゼーション
施設あり



手技だけでなく、学ぶ環境も整えています。



専用の部屋でゆったり



Wi-Fi環境で勉強も捗る！



シミュレーションルームで
訓練できる！



サークル活動も盛んです。職種を超えてスポーツで一つになりましょう！



野球、ソフトボール、フットサル、バスケット、テニス、駅伝、卓球、バレーなどなど九州や全国の赤十字とのスポーツ大会に参加もできます！



女性が働きやすい職場を目指して子育て支援も行っています。



院内保育所オリーブ



病児・病後児保育室



院内に職員用ジムもあり



もっと知りたい方は
福利厚生紹介の
Youtube動画へ！